

表1 佐伯湾赤潮プランクトン調査結果 令和5年7月11日 単位:細胞数/ml

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	DO (mg/l)	シャットネラ sp.	カレニア ・ミキモイ	ヘテロシグマ ・アカシオ	クロロティニウム ・ホリクリコイデス
1. 夏井沖						欠測			
2. 長田沖						欠測			
3. 片白島	8:59	0	25.2	30.80	8.1	0	0	0	0
		5	21.6	33.42	8.5	0	8	0	0
4. 小田代	9:09	0	24.9	31.26	7.5	0	1	0	0
		5	21.9	33.35	9.7	0	85	0	0
5. 沖松浦漁港	9:15	0	26.4	30.32	7.9	0	0	0	0
		5	21.9	33.38	10.9	0	104	0	0
6. 鶴見振興局裏	9:18	0	26.5	30.07	7.8	0	0	0	0
		4	22.3	33.27	11.1	0	0	0	0
7. 鶴見ボンツーン	9:22	0	26.3	32.55	6.6	0	0	75	0
		2	23.6	32.71	9.2	0	7	25	0
		5	21.8	33.42	10.2	0	49	0	0
		10	21.3	33.45	7.2	0	350	0	0
		11.7	21.2	33.47	6.7	0	137	0	0
		12.7	21.3	33.49	6.5	0	42	0	0
8. 石間	9:45	0	25.2	31.94	8.2	0	0	0	0
		7	21.6	33.43	9.1	0	220	0	0
9. 霞ヶ浦	9:54	0	27.3	30.20	8.3	0	0	0	0
		6	21.7	33.42	9.8	0	23	0	0
10. 守後	10:00	0	26.1	31.00	8.3	0	0	0	0
		5	22.0	33.38	9.9	0	6	0	0
11. 片神	10:07	0	26.6	31.66	8.0	0	0	0	0
		5	22.0	33.38	10.2	1	1	10	0
		10	21.4	33.49	7.7	0	237	0	0
12. 片神～彦島	10:15	0	25.7	31.27	8.3	0	0	0	0
		5	22.2	33.24	7.7	0	15	0	0
13. 水試前	10:28	0	24.4	33.10	7.4	0	0	0	0
		5	22.0	33.39	8.1	0	5	0	0

※0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる

※st.1、st.2は7月13日調査予定

参考:赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラspp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモイ	200以上	2000以上
クロロティニウム・ホリクリコイデス	30以上	300以上

*警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

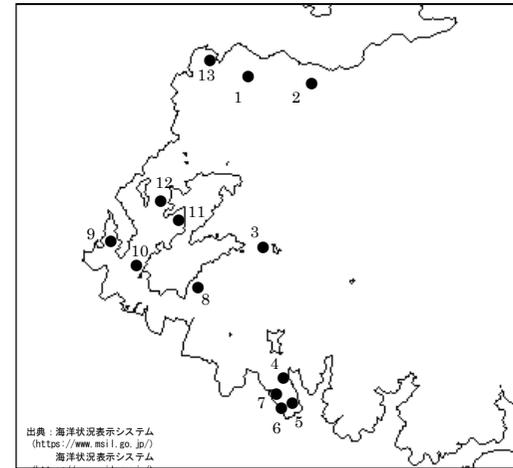
*アソビ、ササエ等ではカレニア・ミキモイで100~200細胞/mlで斃死する可能性があります。

*マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とします。

連絡事項

有害プランクトンのカレニア・ミキモイ、ヘテロシグマ・アカシオ、シャットネラ・マリーナが確認されました。

今後の細胞密度の推移にご注意下さい。



出典:海洋状況表示システム
(https://www.mri.go.jp/)
海洋状況表示システム
(https://www.mri.go.jp/)
を加工して作成

図. 調査定点図